

[導入]

まずはじめに、オーストラリアに来る前の私はキリスト教が嫌いで拒否感すらありました。
そんな私に一体何があって、バプテスマを受けることとなったのかその経緯をお話します。

[以前の生活]

私は日本でWEB 開発者として仕事をし生活をしていた時は、神の存在を完全に否定し何でも自力で解決して生きていく、そんな生活でした。
そしてお金に強い執着があり、どうすればお金を作ることができるのかということについてよく考えていました。そのためビジネス書を読むことが趣味でした。結果的にはこれが聖書を読み始める動機です。

日本で暮らしているある日、人生を賭けた勝負にでることにしました。
全てを捨ててオーストラリアに行こうと。
No pain, no gain この痛みに伴った圧倒的な成長があると信じていました。

[変わり始め]

オーストラリアに到着した9月のこと。
聖書に学びがあることを知っていた点と、世界文化に大きな影響を与えたということから歴史を学ぶ興味に近いものを感じ、教会に行くことにしました。
はじめに行った教会では、特段の魅力を感じず2回目は行きませんでした。

3つ目の教会として、CrossCulture の English Corner とライフグループに辿り着きました。
そこで友達ができたことを皮切りに、毎週通うようになりました。
そして、そこで出会った人がなぜ自分に親切にするのか理解ができずに困惑したことを覚えています。
私は顧客ではなく、お金を払うこともないからです。日本人の持つ感覚とは何か根本的に異なった特徴を感じました。

そして、ライフグループのバイブルスタディが終わった後に、教会の Evening service に行きました。
独特な空気感に圧倒されますが、前向きな感情は抱きませんでした。

ある日の Evening service の後の交流時間でのこと。
一人の Step メンバーからそこへの招待を受けました。
そしてその翌週に参加することにしました。
初めて参加した時には誰一人として知っている人がおらず、困惑しました。
そこで Jacob が初めて話してくれて結果として、Step のメンバーと仲良くなることができました。

その後、Easter camp に行き Step のメンバーとの交流を深め、キリスト教における新たな洞察を得ました。具体的には Jesse のセッションを聞くことで Jesus に対する認識が遠いものから近いものへと大きく変わりました。
それは私の中における一般的な日本人の持つ心とクリスチャンの持つ心の違いに対する認識を決定的なものにしました。

[最後の変化と信じるきっかけ]

ここまででクリスチャンの心境と優しさに触れることをして私の中で、そのようになりたいという思いを覚えました。また副産物として過去の自分を含める一般的な日本人の良さも浮き彫りになりました。

ある日、牧師から祈ることを勧められました。

日本語で祈り始めて数日後に私は祈りの意味を本当の意味で理解しました。きっと精霊が教えてくれたのだと思います。それまでは祈りを聞いていても、神社へのお願い事としか聞こえませんでした。これはただの独り言という意味です。

本来は神様に届けることができなかった私の声や想いを届けることができる、という感覚から私は神様を信じたいという気持ちになりました。

私は生まれてから一度も神を信じたことはありませんでした。お守りは布切れと紙切れです。そのため、神を信じるという意味と概念が理解できませんでした。信仰を定義する必要がありました。私は神様の言葉を知りたいと思っている、すなわち神様の言葉に価値を感じている。この状態を信仰と定義しました。

一年前の私と比較して、今の私は大きく変わったことが実感できます。

これは聖書を物語や教養としての価値ではなく、私自身を作り変えてくれた揺るぎない結果であると思います。私は神様を拒絶し続け背を向け続けても尚、神様は私を見離さずにいつか戻ってくると私を待ち続けてくれました。そして、私と神様との死んでいた関係は今では回復しました。それら全てがイエスキリストが私たちの罪のために死なれ復活することで、私たち課せられた死という概念を克服したことを信じさせてくれます。